

塩酸アマンタジンの異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要（年齢順）（効能追加承認から平成19年9月30日まで）

No.	識別番号	性	年齢	併用薬	副作用	経過	経過の概要
1	C01-3885	女性	10ヶ月	エリスロマイシン	不機嫌 嘔吐 痙攣	回復	塩酸アマンタジンを昼頃服用。夕方に嘔吐発現。夜に痙攣発現。翌日平常に戻った。
2	C01-8917	男性	1		傾眠	軽快	インフルエンザA型陽性、B型陽性のため、塩酸アマンタジンの投与開始。投与3日目、朝より傾眠傾向あり入院。投与5日目、本剤中止。投与中止6日目ほぼ完全に覚醒。
3	C02-8872	女性	1	塩酸シプロヘプタジン ラクタミン 臭化水素酸デキストロメトルファン	意識レベルの低下 蒼白	回復	インフルエンザA型と診断し、塩酸アマンタジン投与開始。投与8日目、意識障害、顔面蒼白が発現。本剤投与中止。投与中止1日後・3日後、意識障害、顔面蒼白が発現。
4	B07000484	男性	1	クラリスロマイシン 塩酸ツロプテロール ツロプテロール アセトアミノフェン	意識変容状態 痙攣 刺激無反応	回復 回復 回復	インフルエンザにて、塩酸アマンタジン投与開始。本剤服用1時間後、急に泣き出し、痙攣を起こし、名前を呼んでも反応しなかった。翌日、朝本剤内服し、1時間後、同様の症状有り、本剤投与中止。その後、意識障害、痙攣なし。
5	C99-19982	女性	2	塩酸セフカペンピボキシル ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン 塩酸プロムヘキシシ	脳症 痙攣	軽快	インフルエンザの診断でアマンタジンを投与。投与開始2日目、15分以上の痙攣出現。入院。以後ずっと入眠しており脳症を疑う。本剤中止し、翌日、頭部CTにて梗塞像あり。3日後、開眼するようになる。投与中止8日後、徐々に歩行出来るようになる。
6	C00-2213	女性	2	ヒベンズ酸チペピジン 塩酸シプロヘプタジン 塩酸プロカテロール カルボシステイン	痙攣	軽快	A型インフルエンザで塩酸アマンタジンなど投与開始。投与6日目、解熱。その後、けいれん出現。
7	C02-8261	女性	2		間代性痙攣	回復	インフルエンザA型と診断し、塩酸アマンタジン投与開始。その夜、強直性・全身性のけいれんが約30分持続した。その20分後、救急受診。末梢のチアノーゼあり。

塩酸アマンタジンの異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要（年齢順）（効能追加承認から平成19年9月30日まで）

No	識別番号	性	年齢	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
8	C02-9348	男性	2		血中クレアチンホスホキナーゼ増加 浮動性めまい	軽快	インフルエンザAと診断され、アマンタジン処方。 投与2日目、アマンタジン内服したが、直後に嘔吐があったため、2時間半後に再度内服した。夜には解熱し、元気が出てきたが、立つと痛み、歩行できず。 投与3日目、ボーっとしていることが多く、近医を受診。ふらつきも認め、本剤中止。 投与中止2日後、起立時、開脚時の痛みは消失。つかまり立ち可。 投与中止9日後、ふらつき消失。
9	C00-1834	女性	3	ホスホマイシンナトリウム メクロプラミド セフジニル フマル酸ホルモテロール 塩酸シプロヘパタジン ヒベンズ酸チベピジン 塩酸プロムヘキシシ	意識レベルの低下 脂質代謝障害	回復	発熱、咳、腹痛等あり、塩酸アマンタジンなど投与開始。 投与開始4日目。午前、前日夕方よりぐったりしており、傾眠傾向で夜中にミルク150ml飲んだだけとのことで、インフルエンザ脳症疑いで、病院へ搬送入院となる。入院時血糖67mg/dl、尿ケトン体(+++)であったが、入院時は意識清明で、CT、EEG異常なし。ケトン性低血糖の疑いと診断。 投与開始6日目、本剤投与終了。 投与終了2日後、昼。急に暴れだし、尿失禁後昏睡状態になる。その15分後、来院。傾眠傾向、血糖25mg/dlで入院加療となる。糖液静注後、意識障害改善。
10	C00-2573	男性	3	ストレプトキナーゼ、ストレプトドルナーゼ	意識消失 蒼白 末梢冷感	回復	発熱あり、塩酸アマンタジンの投与開始。 投与開始2日目の夕方 本剤服用1時間後 顔面蒼白となる。四肢冷感を伴うが、意識は正常。その1時間後、回復する。 投与開始5日目の朝 本剤服用。昼、顔面蒼白となり眠り出す。たたいてもおきず、応答なし、四肢冷感も伴った。 その後、近医を受診。徐々に顔色回復し、眼はさめたがもうろうとしていた。四肢冷感消失。夕方 正常に回復した。
11	C01-1290	男性	3		熱性痙攣	回復	発熱あり、インフルエンザと診断し、塩酸アマンタジン処方。 本剤1回服用後、けいれん発現。けいれんはすぐに治まる。
12	C01-1302	男性	3	カルボシステイン 塩酸アンブロキシソール d-マレイン酸クロルフェニラミン	意識レベルの低下 眼筋麻痺	回復	インフルエンザと診断され、塩酸アマンタジン服用2時間後に意識障害。眼筋麻痺あり。その30分後には意識清明となる。 翌日患者は、昨日のことを覚えていなかった。
13	C03-741	男性	3		痙攣	軽快	発熱のため姉が内服していたアマンタジンを親の判断で服用させた。 翌日、1点凝視、ボンヤリとしたけいれんを認める。 翌々日、意識鮮明。

塩酸アマンタジンの異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要（年齢順）（効能追加承認から平成19年9月30日まで）

No.	識別番号	性別	年齢	併用薬	副作用	経過	経過の概要
14	B07007523	女性	3	アミノフィリン ジアゼパム 人免疫グロブリン アシクロビル	大脳障害 脳症	後遺症 後遺症	38度の発熱。興奮気味で多弁となった。 発熱が3日間続き、活気なく、傾眠傾向あり。インフルエンザA型陽性。脳波検査、頭部CT等によりインフルエンザ脳症と診断し、塩酸アマンタジン投与開始。 投与2日目、解熱するも、会話成立せず、反響語のみ。 投与3日目、MRI画像にて、異常信号あり。
15	C01-2067	女性	4	乳糖 アセトアミノフェン	幻覚 情動障害	回復	インフルエンザA型と診断し、塩酸アマンタジン処方。その夜、幻覚、情動障害出現。その2時間後、受診するも意識清明、神経症状なし。
16	B04026544	男性	4	ヒベンズ酸チペピジン 塩酸アンブロキシール 塩酸シプロヘプタジン	幻覚 錯乱状態	不明 不明	インフルエンザにて、塩酸アマンタジン投与開始。 投与2日目、幻覚、錯乱の症状があらわれた。
17	B05001694	男性	4		悪夢 幻覚	不明 不明	インフルエンザに対して、塩酸アマンタジンを1回だけ投与。 2か月経過しているが、夜に変な夢や幻覚をみることがある。
18	B07000483	男性	4	クラリスロマイシン 塩酸ツロブテロール ツロブテロール アセトアミノフェン	意識変容状態 幻覚 恐怖	回復 回復 回復	A型インフルエンザに対し、塩酸アマンタジンを服用し、1時間後、急に目を覚まし電灯を怖がり大泣きした。投与2日目、本剤内服後に同様な症状がみられたため、投与中止。 その後、意識障害、幻覚なし。
19	C99-19973	男性	5	クラリスロマイシン	幻覚 振戦	回復	インフルエンザとの診断で、塩酸アマンタジン処方。 その日の夕方、手指振戦、脈絡のない言動出現したため入院。意味不明な発言を認め、意識障害あり。本剤中止。 翌日夕方ごろまでは意味不明の言動が見られたが、その後は認められず。
20	C03-327	男性	5	塩酸アンブロキシール ヒベンズ酸チペピジン 塩酸シプロヘプタジン アセトアミノフェン テオフィリン 塩酸ツロブテロール	幻聴	軽快	インフルエンザが疑われ、塩酸アマンタジン処方。 投与2日目、会話内容がおかしくなり、意識もうろう状態となり受診。本剤中止。 投与中止1日後、昼頃まで会話に疎通性がなかった。その後、意識状態清明。

塩酸アマンタジンの異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要（年齢順）（効能追加承認から平成19年9月30日まで）

No.	識別番号	性	年齢	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
21	B04010015	男性	5	アセトアミノフェン	譫妄	回復	発熱あり、インフルエンザで、塩酸アマンタジン処方。同日夜 けいれんあり。投与2日目、朝、目は開けているが、寝ぼけたような様子で意味のわからないことを話していた。手を上に上げて動かすなどの行動も見られた。また、けいれん発現。夜にも同様の症状があった。投与3日目以降は症状見られていない。
22	C99-19976	男性	6	セファクロル ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン 塩酸シプロヘプタジン アセトアミノフェン	痙攣	軽快	臨床症状からインフルエンザと診断され、塩酸アマンタジン処方。昼 本剤内服後仮眠し、その約3時間後覚醒し、上肢硬直、口唇をかんで、眼球前方固視する。呼びかけに反応なかった。その後受診。意識清明、髄膜刺激症状なし。CT異常なし。本剤投与中止。その後はけいれん、せん妄など認めず。
23	C02-973	女性	6	ジアゼパム カルバマゼピン	意識レベルの低下	軽快	インフルエンザA型のため、塩酸アマンタジンの投与18時間後、応答が鈍いため入院。翌日、意識清明となった。
24	C02-1168	女性	6	塩酸シプロヘプタジン 塩化リゾチーム 臭化水素酸デキストロメ トルファン dl-塩酸メチルエフェドリン	熱性痙攣	回復	熱性痙攣の既往あり。発熱あり、塩酸アマンタジン内服。約1時間後、1分間の持続痙攣、続いて嘔吐あり。その後、受診し、意識混濁持続。投与2日目、傾眠。本剤の内服を続けるも痙攣なし。
25	C99-19983	女性	7		意識レベルの低下 会話障害 筋痛 筋脱力 振戦	回復	発熱あり、塩酸アマンタジン処方される。その日の夜、右手翼状振戦5～6回、視線合わず、呼びかけても反応しない。意識障害に気づく。その後、当院受診。意識やや混濁。うなずく動作は可能だが言語不詳。全身の筋力低下。本剤中止。投与終了1日後、夜中に小さなかすれ声が一言のみ出る。発声は徐々に増加。
26	C01-1887	男性	7	レバミピド 塩酸ロメフロキサシン セラペプターゼ アセトアミノフェン	意識レベルの低下 痙攣	回復	発熱あり、塩酸アマンタジン処方。投与2日目、全身強直性けいれんとチアノーゼ出現。本剤中止。投与中止1日後、症状再発なし。

塩酸アマンタジンの異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要（年齢順）（効能追加承認から平成19年9月30日まで）

No.	識別番号	性	年齢	併用薬	副作用	経過	経過の概要
27	C02-8882	男性	8		錯乱状態	回復	夕方、塩酸アマンタジンを1回目飲ませたが吐いたため、2回目をまたすぐに飲ませた。しかし、そのときも吐き、3回目でやっと吐かずに飲ませた。服用30分後、錯乱状態とより、暴れたため、受診した。服用1時間後、錯乱したことは覚えていなかった。翌日、何もなかったように落ち着く。
28	B04025396	男性	8		脳症	死亡	塩酸アマンタジン服用した小児が発症後1-2日目にインフルエンザ脳症で寝ている間に突然死した。
29	C03-742	女性	9	ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン アセトアミノフェン	急性ストレス反応 幻覚 不安 譫妄	回復	臨床症状からインフルエンザと診断され、塩酸アマンタジン処方。投与4日後の昼、同じ会話をくり返す。変な会話、幻覚あり、不安状態。その夕、受診し、本剤中止。投与中止3日後、会話のくり返しはなくなり、表情も眠気から醒めたようにしっかりしてくる。投与中止6日後、自ら歩行するようになる。意識、会話はアマンタジン内服前と同じ状態に回復した。
30	C03-1469	男性	9	d1-マレイン酸クロルフェニラミン プラノプロフェン	活動性低下 無力症	未回復	インフルエンザにて、塩酸アマンタジン処方。投与2日目、顔色不良、ぐったりする。
31	B07002880	女性	9	アジスロマイシン水和物 塩酸クレンブテロール 塩酸アンブロキシソール	異常行動 意識レベルの低下 ジスキネジー	不明 回復 不明	投与1日目、両手をもがくようにしたり、視線が合わず、右方上位を凝視したりする。氏名、学年は答えるが、今日の日付には答えない。その後父親とはスムーズに会話している。
32	C02-972	女性	10	メフェナム酸 セフジニル	意識レベルの低下	軽快	発熱あり、塩酸アマンタジン投与12時間後、幻視を伴って意味不明のことを言う。翌日には意識清明となった。

塩酸アマンタジンの異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要（年齢順）（効能追加承認から平成19年9月30日まで）

No.	識別番号	性	年齢	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
33	C02-4300	男性	10	セフテラムピボキシル 塩化リゾチーム メフェナム酸	幻覚	回復	臨床的にインフルエンザと診断され、塩酸アマンタジン投与開始。 投与2日目、幻覚、幻視が出現。1日に数回認められた。本剤中止。 投与中止1日後、解熱し、感冒様症状は軽快したが、その後も1日に1-2回の幻視を認めた。 投与中止10日後、上記の症状が持続するため、小児科を受診。明らかな神経学的所見を認めなかったが、脳波検査中も幻視が出現した。
34	C02-9361	男性	10	メクロプラミド برانلカスト水和物	ジスキネジー 錐体外路障害	回復	インフルエンザA型にて、塩酸アマンタジンを処方。 投与3日目、昼、口腔内の痛み。夕、左顎下痛、後頸部痛出現。夜、夜間救急外来受診。 四肢の不随意運動が出現したが、ジアゼパム投与で鎮静化。頭部CTで所見なし。
35	C03-745	男性	10		痙攣	軽快	発熱あり、インフルエンザの診断で塩酸アマンタジン処方。 投与4日目、嘔吐、その後うつ伏せに倒れ、眼球上転、口から泡をふき強直性けいれんを1分ほどおこし、救急搬送となる。車内で意識は回復したが、傾眠傾向がつづいた。 本剤中止翌日、意識清明となる。
36	B05006431	女性	10	塩酸アンブロキシール アスピリン d-マレイン酸クロルフェニラミン アセトアミノフェン	意識レベルの低下 幻覚	回復 回復	A型インフルエンザにて夜から塩酸アマンタジン投与開始。 翌日、20分ほど持続する幻覚、意識障害が出現。本剤投与中止。その後回復。
37	B06026745	女性	10	ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン ツロブテロール	ムンブス 幻覚	不明 軽快	インフルエンザA型にて塩酸アマンタジン投与開始。同日より目の調節障害発現。
38	C01-1124	男性	12	セフポドキシムプロキセチル サリチルアミド、アセトアミノフェン 、無水カフェイン、メチレンジサリチル酸プロメタジン配合剤 塩酸クロフェダノール	意識消失 痙攣	回復	発熱あり、インフルエンザと診断、塩酸アマンタジン投与開始。深夜、全身痙攣発作が発現し、救急搬送された。点滴治療中、約30分、意識なし。約3時間点滴で様子観察し、帰宅。

塩酸アマンタジンの異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要（年齢順）（効能追加承認から平成19年9月30日まで）

No.	識別番号	性別	年齢	併用薬	副作用	経過	経過の概要
39	C02-998	女性	13	スルピリン 臭化水素酸デキストロメ トルファン 塩酸アンプロキシール セファクロル 塩酸ジサイクロミン・水酸化アルミニウムゲル・酸化マグネシウム配合剤	意識レベルの低下 痙攣	回復	発熱あり、アマンタジン処方。 夕方、処方薬を服用後、20-30分で痙攣様発作、目が白目となりショック様となり、数分で消失した。本剤投与中止。
40	C01-2984	男性	14		悪性症候群	回復	A型インフルエンザ脳症と診断され、塩酸アマンタジンによる治療開始。 投与5日目、意識はほぼ正常になり、Cr値も低下したため、本剤終了。 投与終了1日後、突然発熱、意識障害が発現し、筋固縮が増強。 本剤中断による悪性症候群を疑い、塩酸アマンタジンを再度投与したところ、発熱、意識障害、筋固縮は速やかに消失した。
41	B05003287		16	セフジレンピポキシル ソファルコン フマル酸ケトチフェン برانلカスト水和物	意識レベルの低下 痙攣	回復 回復	A型インフルエンザに対して、塩酸アマンタジン投与開始。 本剤2回目の内服後、約3時間後に意識障害と痙攣出現し、入院。 脳波の検査：正常。
42	B07001016	男性	19		意識消失 異常行動	回復 回復	A型インフルエンザで、塩酸アマンタジンを5日間服用。 投与2日目、時々意識がなかった。 投与6日目、ロープを購入するなどの異常行動が目立つようになった。 13日後、MRI検査するも神経学的異常なし。
43	C02-3035	男性	27	ジクロフェナクナトリウム 塩化リゾチーム セフジニル シンナリジン	悪寒 浮動性めまい	不明	塩酸アマンタジン服用5時間後、悪寒とふらつきが出現。 本剤服用9時間後、再診。再診時には悪寒のみあり。本剤中止。
44	C99-19981	女性	28	マレイン酸フルボキサミン ロフラゼパ酸エチル エスタゾラム ジアゼパム プロチゾラム	人格障害 精神症状	不明	性格障害、不眠、自律神経失調症等のため通院加療中。 塩酸アマンタジン投与開始。 投与開始2日目、多重人格障害が発現。 投与開始3日目、母親と来院。以前より狂暴化していたが、人格は本人に戻っていた。

塩酸アマンタジンの異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要（年齢順）（効能追加承認から平成19年9月30日まで）

No.	識別番号	性	年齢	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
45	B07010392 (C03-322)	男性	29	酢酸ミデカマイシン アスピリン・ダイアルミネート	知覚過敏 振戦 激越 落ち着きのなさ 失見当識 尿閉 昏迷 食欲不振 薬物相互作用	回復 回復 回復 回復 回復 不明 不明 不明	インフルエンザと診断され、アマンタジンを処方。 投与開始5日目、立てない、不穏などの症状があり、興奮状態であったため、入院となった。知覚過敏、振戦も認められた。 本剤中止後回復。
46	C02-1500	女性	20代	アセトアミノフェン	意識レベルの低下	回復	インフルエンザA型に対し、塩酸アマンタジンを処方したところ、意識障害が発現し、救急搬送された。患者はその後回復した。
47	C02-1501	女性	20代	アセトアミノフェン	意識レベルの低下	不明	インフルエンザA型に対し、塩酸アマンタジンを処方したところ、意識障害が発現し、救急搬送された。患者はその後回復した。
48	C00-358	女性	33	セフジニル メフェナム酸 塩酸プロムヘキシ プロナーゼ ポピドンヨード ジクロフェナクナトリウム 麻黄湯	てんかん	回復	インフルエンザで塩酸アマンタジン服用開始。 投与3日目の夜、本剤服用3時間後と5時間後に発作発生。
49	C12583	男性	35	マレイン酸エナプリル ベシル酸アムロジピン フロセミド サリチルアミド、アセトアミノフェン、無水カフェイン、メチレンジ サリチル酸プロメタジン 塩酸セトラキサート 塩酸ロメフロキサシン	悪性症候群	軽快	慢性糸球体腎炎で外来通院中。 感冒症状あり、塩酸アマンタジンなど処方。 投与開始5日目より、手の振戦、異常感覚が出現し、本剤投与中止。翌日、精神錯乱状態となり入院。 投与中止4日後、意識障害、筋硬直痙攣出現し、悪性症候群と診断される。
50	C03-519	女性	37	ロキソプロフェンナトリウム	意識レベルの低下	回復	インフルエンザと診断され、塩酸アマンタジン3日間内服。 投与終了3日後、異常言動出現。 投与終了6日後、意識改善。

塩酸アマタジンの異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要（年齢順）（効能追加承認から平成19年9月30日まで）

No.	識別番号	性別	年齢	併用薬	副作用	経過	経過の概要
51	B04008730	男性	39		錯乱状態	不明	インフルエンザの治療に本剤を1回処方。錯乱発現。
52	B07009173 (C99-2517)	女性	39	塩酸セフカペンピボキシル セラペプターゼ リン酸ベンプロベリン 非ピリン系感冒剤(4) エチゾラム プロナーゼ 補中益気湯	うつ病	回復	インフルエンザA型として塩酸アマタジンを処方。 投与開始3日目、気分不良、うつ状態、食欲不振などの症状が出現し、本剤中止。 その後も「自殺を考えた」などの症状があった。
53	C00-152	女性	40	塩酸セフカペンピボキシル 塩酸クロフェダノール スルピリン	神経症 うつ病	不明	発熱、咳、咽頭痛にて本剤投与開始。 投与終了2日目夜、急に不安定になり、電話をかけまくり、不眠となる。 投与終了3日後、安静にせず、言うことを聞かない。躁の状態となる。
54	C99-3537	男性	47	リン酸ジメモルファン カルボシステイン セラペプターゼ	悪夢 幻覚 独語	回復	インフルエンザの診断にて塩酸アマタジンの投薬開始。 投与開始2日目及び3日目の夜、幻覚、悪夢、寝言様のひとりごとを発する。 投与開始4日目、再診、本剤中止。
55	C99-1303	男性	58	クラリスロマイシン ヒベンズ酸チペピジン イブプロフェン	筋痛 筋痙縮 血尿 歩行異常 譫妄	回復	A型インフルエンザを疑い塩酸アマタジンなど投与開始。 投与開始5日目、譫妄状態出現し徐々に悪化。 投与開始6日目、本剤投与中止。歩行困難、筋痙攣あり。 翌日、意識状態回復傾向となり、その後は特に異常無し。
56	B03010920	男性	63	マレイン酸エナラプリル ニフェジピン オキサゾラム ニコチン酸トコフェロール	振戦	回復	インフルエンザA型と診断し、塩酸アマタジン投与。 投与4日目、顔面、上肢の振戦が出現。本剤中止。 投与中止3日後、次第に振戦が強くなる。 投与中止7日後、突然、完全に消失した。
57	C00-3531	女性	65	ヒューマンモノコンポーネントイン スリン 塩酸ジラゼフ	ジスキネジー	回復	透析療法中。 インフルエンザA型で、塩酸アマタジン投与開始。 投与4日目、体の不随意運動あり。食事するにも振戦強く不自由。本剤投与中止。 投与中止2日後、透析。その後も体のふるえがあるため、日常生活も不自由、話すのも ふるえる。 投与中止9日後、透析後に血液浄化。その後しだいに体のふるえは改善。 投与中止27日後、ほぼ振戦は消失した。

塩酸アマンタジンの異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要（年齢順）（効能追加承認から平成19年9月30日まで）

No.	識別番号	性	年齢	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
58	C03-153	男性	71	メナテトロン 沈降炭酸カルシウム アルファカルシドール 塩酸エピナスチン シロスタゾール	幻覚 歩行異常 譫妄	回復	脳軟化症で加療中。 インフルエンザと診断され、塩酸アマンタジン内服開始。 投与6日目、幻覚、せん妄、歩行障害が出現し、徐々に増悪。 投与7日目、アマンタジン投与中止。 投与中止2日後、全く歩行不能となったため、入院。 投与中止4日後、血液透析。 投与中止7日後、症状は明らかに改善傾向となり、歩行可能となった。幻覚も消失。
59	C03-1103	女性	73	メナテトロン 沈降炭酸カルシウム アルファカルシドール ベシル酸アムロジピン	不眠症 譫妄	軽快	慢性腎不全にて腹膜透析中。インフルエンザA型にて、塩酸アマンタジン投与開始。 投与終了3日後、せん妄(夜間のみ)、不眠が出現。 投与終了7日後、血液透析を行う。その後、寛解と再燃をくり返す。頭部CTは、異常なし。 投与終了4週間後、血漿交換。せん妄はかなり改善。
60	B03010286	女性	78	リン酸ジメモルファン フェニルプロパノールアミン配 合剤	失見当識 大脳萎縮	不明 不明	インフルエンザで塩酸アマンタジン投与開始。 投与3日目、意味不明の言葉を言うなど、見当識障害が発現し、本剤投与中止。 家族の話では、状態が落ち着くまで約1ヶ月近くかかったとのこと。 また、服用の1ヶ月前から軽い近時記憶障害があったとのこと。
61	C99-17282	女性	83		錯乱 妄想	回復	インフルエンザで、塩酸アマンタジンを投与開始。 投与5日目、妄想、錯乱をきたし、歩行困難となる。本剤投与を中止。 脳波に特に異常はみられなかった。約3日後回復する。